



Cooperative Education Program

持続可能な社会の実現に向けて

KITコーオプ教育プログラム

大学×企業の共創による社会実装型人材育成



KIT | 金沢工業大学

学生が就業を通じて実社会の問題発見解決に挑む。 「KITコoop教育プログラム」を推進

「KIT コoop教育プログラム」は、企業の第一線で活躍する技術者を「実務家教員」として招聘し、事前教育を実施するとともに、学生が企業の実際の業務に従事しながら企業がもつ最先端の技術について実践的に学び、社会と顧客に貢献する価値と行動を理解する、金沢工業大学独自の新しい産学協同型プログラムです。

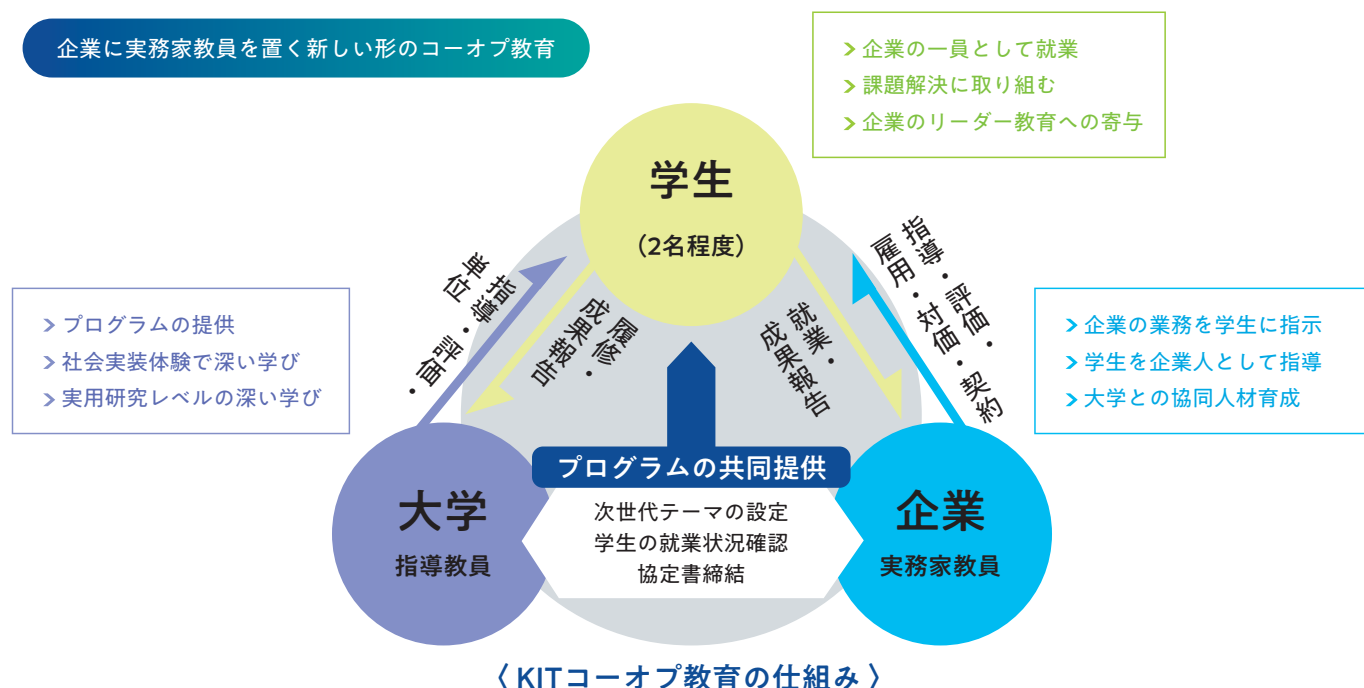
Society5.0 社会に向けて、産業界との協同によりイノベーションを創出する次世代リーダーを育成するため、世界産学連携教育協会(WACE: World Association for Cooperative Education)の世界標準コoop教育(CWIE)に準拠し、さらに独自性を付与してプログラムを設計。これからの産学協同型教育研究のスタンダードとなることを目指しています。

KIT問題発見解決型教育のさらなる実践型

「KIT コoop教育プログラム」は、国内外から高い評価を受けてきた金沢工業大学独自の問題発見解決型教育「プロジェクトデザイン教育」をさらに発展させた成果プログラムであり、2019年に導入、2020年にスタートさせました。

カリキュラムは大学と企業が共同で策定し、事前教育を受けた学生の中から選抜された学生数名が、数カ月間、企業の業務に従

事します。学生は企業が持つ最先端の技術について実践的に学び、実社会の課題を扱った課題発見・解決に取り組むことで、理論と実践の両面を効率的に学ぶことができます。テーマは「データサイエンス」「サイバーセキュリティ」「建設業における分野融合によるDXと脱炭素への取り組み」などさまざまです。



KITコoop教育プログラムとインターンシップの違い

	KITコoop教育プログラム	インターンシップ
期 間	長期間の雇用（4カ月～1年間）	短期就業体験（1～2週間程度）
教育 内容	教育主導の正課教育。大学と企業が共同でカリキュラムを策定し、専門に関連した業務に従事する	企業主導による就業体験。プログラムは受け入れる各企業が策定する
対価の有無	報酬あり。企業は一社員として学生を受け入れ、必要な業務に従事させ一定の期間内に成果が得られる形で実施	原則的に報酬なし
事 前 学 習	大学のカリキュラムの一環として事前学習を共同で実施	就職活動に関連した講座のみ実施
評 価 方 法	指導教員と実務家教員による総合的な学習評価を実施	主に企業担当者からの評価が中心

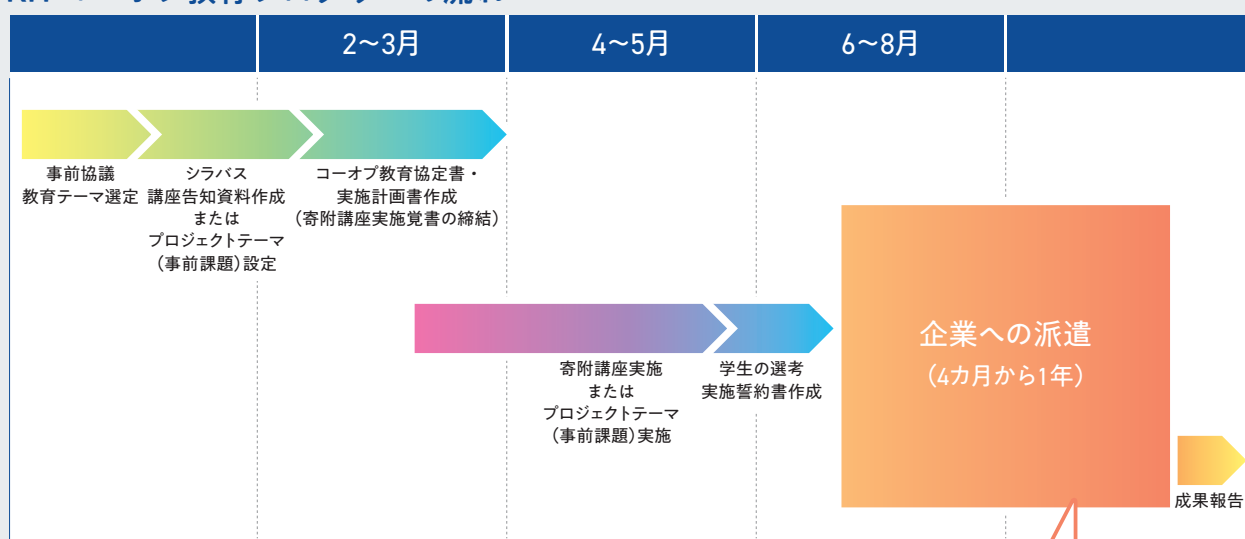
KITコーオプ教育プログラムの流れ

- ① 企業と大学の共同でテーマ設定
- ② 企業と大学で協定書等の締結
- ③ 実務家教員の招聘
- ④ 学内告知（寄附講座、事前課題、事前面談等）および事前教育を実施
- ⑤ 企業による学生の選抜
- ⑥ コーオプ教育開始（企業での就業）

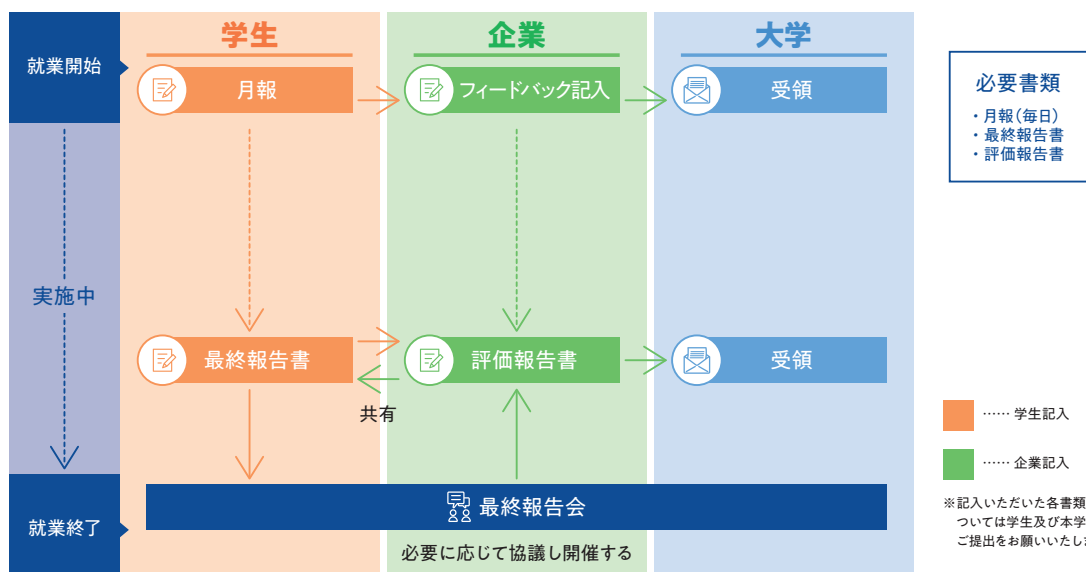
実務家教員の招聘について

- ▷ 研究開発または事業・プロジェクトの取り纏め責任者（部長、課長、マネージャー等）で、おおむね5年以上の実務経験者を、実務家教員として招聘いたします。
- ▷ 学生への教育の観点から、実務を自社内で教育していただく責任者となります。
- ▷ 実務家教員は、コーオプ教育を起点とした、企業と大学の教育研究の連携役となります。

KITコーオプ教育プログラムの流れ



コーオプ教育プログラム実施中の流れ



KIT コーオペducationプログラムの事例

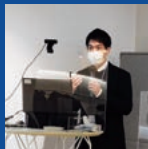
寄附講座型

企業がコーオペducationに関連した寄附講座を開講して座学と課題により学生を事前教育し、選抜された学生がコーオペducationに参加します。

Case1 | NTT 西日本グループ



- ☑ データサイエンティスト養成に向けたNTT 西日本グループとの事例。
- ☑ 事前講座として、NTT 西日本寄附講座・生涯学習特別講義「ICT × データサイエンス」を6月から8月にかけて実施。
- ☑ その後、4カ月間、“社員”として勤務し、NTT 西日本から依頼された案件に従事。



URL : https://www.kanazawa-it.ac.jp/kitnews/2020/1225_coop.html

Case2 | NECソリューションイノベータ(株)



- ☑ サイバーセキュリティ技術の養成に向けたNECソリューションイノベータ(株)との事例。
- ☑ 事前講座として、寄附講座・生涯学習特別講義「サイバー攻撃への対策・解析講座」を5月から6月にかけて実施。
- ☑ その後、4カ月間、“社員”として、セキュリティルームで侵入テストと防御に関する課題に従事し仕様書を作成。



URL : https://kitnet.jp/monogatari/play/927_yoshida.html

プロジェクトテーマ型

コーオペducationに関連して企業が設定した課題や面談を通して企業が学生を事前教育し、選抜された学生がコーオペducationに参加します。

Case1 | 北菱電興(株)



- ☑ データ分析・解析技術の養成に向けた北菱電興(株)との事例。
- ☑ プロジェクトテーマ(事前課題)を実施し、学生を選考。
- ☑ その後、6カ月間、“社員”として勤務し、北菱電興から依頼された「工場で働く従業員の幸福度を向上させるための測定解析技術等の検討」に従事。



URL : https://www.kanazawa-it.ac.jp/kitnews/2021/0615_coop.html

Case2 | (株)別川製作所



- ☑ 誰にも身近なスマホとAI、IoTを活用したDX実現に向けた(株)別川製作所との事例。
- ☑ 本学との共同研究の中から派生した新たな着想(課題)に興味をもった学生を選考。
- ☑ 9カ月間、“社員”として勤務し、人とモノをつなぐコミュニケーション(Q.WoL・Talk)技術を活用した「対話型AIチャットBot」の開発。



URL : https://www.kanazawa-it.ac.jp/kitnews/2022/0331_coop.html

企業現場

通常の業務では、なかなか手を付けられなかった課題に取り組むことができた。

企業側としても業務遂行のプロセスを考え直す機会につながった。

専門分野の学生に来てもらったので、作成した手順書はすぐに業務に活用できた。

通常のインターンシップに比べて、より学生の思考や行動への理解が深まった。



参加企業からの声



学生と取り組む社員は、責任感の醸成等、様々な教育的効果があり、社員の人間力向上につながった。

学生間で引継ぎをしながら新しい学生が来ることで、学生と企業のつながりに深みが増し継続することに価値を感じた。

多様な考え方を歓迎する企業風土の醸成につながった。

もっとコーオプ教育が広がれば、学生全体のレベルアップにつながり、社会貢献にもなると感じた。

大学の現場

授業で身につけた能力が、社会で活用できるかを試すことができる

さらに知識・技能が向上する
自身で成長度合を測定できる

上司と面談する機会がある

仕事への意識の変化
今後のキャリアプラン

複数社員からの
フィードバックを得られる
社会人としての成長



参加学生からの声

コーオプ教育の「ココがよかった！」



納期に合わせた進捗管理が身につく

常に進捗管理と実施の
マルチタスク業務

答えの無い問いに取り組む
仕事観をつかむことができる

正社員と同じ扱いを受けられる
お客様としてではなく
一社員として接する
対等な立場での業務

新たな産学連携を目指して

金沢工業大学 建学綱領 人間形成・技術革新・産学協同

産業界と“共同と共創”の関係を強固なものとして築き「共進する」という考え方のもと、持続可能な未来社会の実現を目指します。



教育・研究・KITコーオペ教育プログラムの連携

- KITコーオペ教育プログラムと組み合わせ、「新たな産学協同のプラットフォーム」を実現
- 新たな製品・サービス・独自ブランドを産業界と共に創る人材の育成システムを構築



社会実装型の教育実践と研究開発へと発展させ、次世代を担う若きリーダーを育て、我が国の“Society5.0 社会ならびに SDGs の振興と推進”に寄与します。

